

及御回答候也



知

明治廿三年七月廿八日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

別紙官内省ノ成案世傳御料及御私料
區別ノ儀大体ニ於テ不都合無之且他ノ法
律ニ牴觸ノ虞モ無之ヲ以テ樞密院、御諮
詢相成然ルヘシ因テ左案ノ通官内大臣、
御回答可相成哉

拜啓自壬寅御範第四十六條ニ據リ世

傳御料ニ編入ノ土地物件勅裁ノ上ハ
公告可相成ニ付意見御尋問ノ趣了
承仕取右ニ成案ノ通樞密院ノ御諮詢
相成可並存候此後及御回答係教員

月日

内成總理大臣

宮内大臣宛

テリヤシロキノ旨付多ク以テ

参照

○ 皇室典範 鈔録

第八章 世傳御料

第四十五條 土地物件ノ世傳御料ト定メタルモノハ

分割讓與スルコトヲ得ス

第四十六條 世傳御料ニ編入スル土地物件ハ樞密

顧問ニ諮詢シ勅書ヲ以テ之ヲ定メ宮内大臣之ヲ

公告ス

○ 地所名稱區別 鈔録

沿革略記 明治六年三月第百十四號布告ヲ以テ地所
名稱區別ヲ制定シ七年十月第百二十號ヲ以テ改定ス

官有地

第一種 地券ヲ發シテ地租ヲ課セテ地方税ヲ

賦セサルヲ法トス 十二年第三十四條布告ヲ以テ區入費ヲ地方税ト政ム

一 皇宮地 皇居離宮等ヲ云

一 神地 伊勢神宮山陵官國幣社府縣社及ヒ民有ニテラサレ社地ヲ云

第二種 地券ヲ發シテ地租ヲ課セテ地方税ヲ賦

セサルヲ法トス尤府縣所用ノ地ニ地券ヲ發セシ

唯帳簿ニ記入ス 八年第三十四條布告ヲ以テ但書共改正ナ

二年第三十四條布告ヲ以テ區入費ヲ賦スルトアルヲ地方税ヲ賦セサルト政ム

但此地ニアル官舎ヲ賃渡ス時ニ借地料ヲ

賦スヘシ

一 皇族賜邸

一 官用地

官院有使寮司府藩縣本廳裁判所警視廳陸海軍林營其他政府ノ許可ヲ得タル所用ノ地ヲ云

拜啟皇室典範第

四十六條、據り世傳

御料、編入、土地物

件、勅裁相成候心、

公告スヘキ、若、有之別

紙之通取調申候

右、重大、事件、付先

以御意見致承知度

此段得御意候敬具

公告スルハ其若ク有之別

紙之通取調申候

右、重大、事件、付先

以御意見致承知度

此段得御意候敬具

明治三十年七月廿五日

宮内大臣對上方元

内閣總理大臣對山縣有朋殿

此等可成至急法回答之候此中法
也

昨日御用申上

世有御料勅定御上

枢密院体暇前古語

可相承若身子委急少回

若取本儀様後及可

御用申上

二年三月十日

方官内上

山本内閣書記

世有御料勅定之件ハ

枢密院体暇前之旨ハ

可相承若付之旨急之由

若取本儀様及可

照付之旨ハ

二年三月十日

上方之内上

山縣内閣總理大臣

新編皇室御料目録

皇室御料目録

日田道田

世傳御料ハ憲法ノ最上部分タル皇室典範布公

シタルト否トニ拘ハラスノ明條ニ依テ成立シ皇室ニ係屬シテ

帝位ト共ニ萬世ニ繼承シ全ク普通法ノ外ニ於テ

處分セラルヘキモノトス即チ租税ヲ賦課スヘキ

ラス賣買讓與スヘカラス期滿得權ノ効ニ依テ

私有ト為スヘカラスト定メラルヘキモノ今此御

料ニ編入スヘキ土地物件ノ中宮城離宮並

寶器等、物件、格別トシ御料地ニ至テハ
収入確實ナル土地ヲ擇ヒ彼、精査未濟ナル
山林收支相償ハサル土地盛衰多キ鑛山等
ヲ編入スヘカラス殊ニ許多ノ土地ヲ編入セハ
國家經濟上ノ利害如何モ計リ知ルヘカラス
ルナリ又御料中世傳御料ノ勅定アルニ於
テハ其他ノ御料ハ即チ御私料ト為サルヲ
得ス既ニ御私料タリ御私産タルニ於テハ立憲制理義

ニ依テ普通法律ノ範圍内ニ於テ處分セラル
ノ盛意ヲ示サレ凡ソ私有ノ財産其所有者
ノ如何ニ依テ之ニ附帶スル權義ニ差違ナカラシム
ヘシ即チ世傳御料外ニ屬スル財産就中土
地ハ大量地價ヲ付シ帝ニ地方税郡市町村
費ノミナラス進テ國稅ヲモ賦課スヘシ其主管
者ハ一個法人ノ管理者ト同ク其財産ニ付權
義ヲ有スヘシ蓋シ國稅ヲ賦課セラルニ於テ

ハ将来新に購入スヘキ御料地ニ對スル國稅
ヲ減ス即チ財產ノ移轉其購入者ノ如何ニ
因テ租稅ヲ減シ國家ノ經濟上ニ影響ス又
御料地ノ名稱ハ世傳御料ニ限リ他ハ宮内
省附屬地等ノ名稱ヲ用ヰテ判然之ヲ分別
スヘシ議院ノ開會ニ先チ地所名稱區分
布告中官有地第一種皇宮地並其附屬
地中世傳御料外ニ係屬スルモノハ租稅ヲ

賦課スヘキコトニ内閣ニ向テ改正ヲ要メ至公至
仁ノ聖旨ヲ顯彰スヘシ皇室ニシテ已ニ然ル上
ハ皇族ノ別邸其他ノ所有地本邸宮城ト
同視スモ亦
總テ普通法ノ下ニ之ヲ處分セラレヘキコト
當然ナルヘシ

世傳御料ヲ勅定セラル、時ニ際シ以上法
律經濟ニ關係ノ點ヲ審議豫定ニ以テ御
料地ノ管理帝室御經濟ノ方針ヲ定ム

ルコト緊要ナリトス

勅書按

朕皇室典範第四十六條ニ依リ樞密顧問
ノ諮詢ヲ經左記ノ土地物件ヲ世傳御
料中ニ編入シ皇子孫ノ皇位ヲ繼承ス
ルモノヲシテ永ク相續保持セシム

御名 御璽

年月日

宮内大臣

府縣名	國名	區郡名	名	稱	考
東京府	武藏國	麹町區	宮	城	宮城附屬地吹上御苑同附屬地 ヲ包含シ和倉馬場先櫻田
					半蔵竹橋ノ諸門内ヲ云フ(圖 書簿籍ヲ整理シテ一筆トシ公告 案ニ此注ヲ除クヘシ以下皆同シ)

土地、繪圖物件ノ目録ハ圖書

寮ニ於テ保管セシム

全 全 赤坂區 赤坂離宮 一九二、二八二、三一九

全 全 芝區 濱離宮 延達館ヲ包含ス 七四、九〇四、〇〇〇

全 全 芝離宮 附屬地ヲ包含ス 一六、〇九七、〇七〇

京都府 山城國 愛宕郡 京都皇宮 附屬地ヲ包含ス 二七九、六九九、四二〇

全 全 二條離宮 七九、八三〇、〇四〇

全 全 葛野郡 桂離宮 一一、八二六、〇〇〇

全 全 愛宕郡 修學院離宮 附屬地ヲ包含ス 六一、七九二、九六〇

神奈川縣 相模國 足柄下郡 函根離宮 塔ノ嶋 四七、一六三、五〇〇

附屬地ハ函根御料地トシテ別項ニ

掲ク

奈良縣 大和國 添上郡 正倉院宝库 五、一一四、四〇〇

奈良離宮地 三三、六三五、八離宮未

成ニ付除ク

東京府 西蔵國 麹町區 三軒町 御毬 元工科大学現今學習院ニテ持借 二〇、一〇四、八四〇

全 伊豆國 天城山御料地

全 駿河國 富士山御料地

山梨縣 甲斐國 全 御料地

北海道廳 日高國 上川郡 赤井一御料地 字忠別 離宮見込地ノ分三六五七八六五五〇

三重縣 伊勢御料地

奈良縣 大和國 畠山御料地

右宮城白王宮御所離宮ハ其建造物土地ヲ
包括シ寶庫ハ其寶器物品並土地建造物

ヲ包括ス

公告案

右之通世傳御料中ニ編入セラレタ
リ依テ公告ス

年月日

宮内大臣

宮甲一

明治廿五年六月四日

内閣書記官



内閣總理大臣

奏

内閣書記官長



謹ヲ案スルニ本邦華族ノ制度タル特種ノ起原
 ヲ有レ常ニ皇家ト其聯脈ヲ有セサルハナク泰西
 貴族ヲ以テ一ノ公益獎勵ノ具トナシ別ニ門地ノ慣
 制ヲ有セサルモノト素ヨリ同日ノ論ニアラス明治
 十七年授爵ノ
 聖詔ヲ稱誦スルニ

十

内

閣